



奉仕の心を持った活動を

昨年の12月から、新しく民生委員・児童委員を務める日向美智子さん。「できるかどうか心配でしたが、昔から住む地区の担当ということで、皆さんのご協力で活動させていただいています。」就任の際に不安に思っていたことも、地区の皆さんをよく知っていると、日向さんはよく知っているというので、気軽に声をかけ合いながらコミュニケーションを図っています。

一人暮らしのお年寄りの世帯を訪問し、「元気に過ごしているか」「何か心配ごとがないか」を、地区の話題を交えた世間話を通して把握していくなど、多岐にわたる委員の活動に、日向さんは笑顔で取り組んでいます。

就任1年目の目標を「前任の委員さんと同じように、地域の方々から気軽に声をかけていただけるように努めながら、奉仕の心を持って活動していきたいと思っています。」と、日向さんはこの数カ月を振り返りながら話します。

ボランティアで活動する民生委員・児童委員は、信頼につながる私たちの相談役として、主任児童委員を含め市内5地区で70人の方々が、「健康で安心してくらせる心のふれあいまちづくり」を支えています。



活動の向上を図る研修会の開催

ひゅうがみちこ profile 日向美智子さん

根室市民生委員・児童委員

1953年根室市生まれ。平成22年12月1日から根室市民生委員・児童委員に就任。子どものころから担当地区の松ヶ枝町に住み、現在、家族4人暮らし。小説を読むことを趣味とする。【担当地区 松ヶ枝町・花咲町】

千島桜を望む窓

市長室のカレンダー

日没の時間も見る見ると早くなり、午後6時を過ぎると夜の気配が漂い始めます。

8月19日、市役所3階の大会議室には明かりがともり、長谷川市長を囲み活発な意見交換が行われています。

今日は、平成23年度第1回目となる「市政

モニター会議」が開催され、応募や町内会、各団体から推薦を受けたモニター13人が、市が進めている事業や予算に対する意見や地域の要望などについて述べました。

市政モニターは、毎年広報紙などを通し市民皆様のご参加を呼びかけ、20人以内の定員の中で、1年間にわたり市が委嘱しています。

根室市の再生・再興に向けた「根室再興政策プロジェクトの推進」や「衆議院沖縄及び北方問題に対する特別委員会」に参考人として出席し、1日も早い領土問題の解決を訴えたことなど、長谷川市長からのあいさつで会議は始まり、災害時の備蓄品の状況や津波ハザードマップの内容についての質問のほか、児童会館の後利用、市立根室病院での早期分娩の再開などの意見が、次々に出されました。

市政モニター会議での意見や要望は、できることはすぐに対応するとともに、これからの行政運営を進めようとする貴重なものとなっています。

